

議事録

会議名：第35回中四国学生剣道連盟理事会

- 日時：2010年12月11日PM1時30分より
- 場所：広島県立総合体育館・地下1階・中会議室
- 構成員：34名
- 参加者：湯村正仁、渡邊道徳、小倉 肇、榊 康守、福井悦郎、草間益良夫、村井慎治、石井博貞、境 英俊、香川直己、廣畑栄三、宮本理幸、矢野宏光、月本翔太、小原啓示、工藤圭司、菱川創太、香川修慶、明石靖子、近藤秀俊、上田祥平、上田晴加、山村 彩、吉田幸平、坪内昭紘、大野泰史、比田勝康至、松木佑輔（以下委任状により出席と見做す）藤原崇郎、木原資裕、大城戸 功、山神眞一、太田浩貴、高橋琴美 以上34名、オブザーバーとして、近藤裕樹、黒田隼也

上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。慣例に倣い会長の湯村正仁を議長として議事が進められた。

● 記 録

氏名：工藤圭司

E-mail：[REDACTED]（不明点はこちらへ）

Summary：

- 議題1：第34回理事会議事録確認
- 議題2：幹事会報告（学生役員改選・名札・規約改正案の報告）
- 議題3：規約改正案及びグランドルール改正案について
- 議題4：全日理事会・常任理事会報告（オープン大会実施等の報告）
- 議題5：全日本オープン大会（主管：中四学連）について
- 議題6：平成23年度大会について（日程及び審判長）
- 議題7：各大会における審判員の各県割り当て人数について
- 議題8：リーゼミについて
- 議題9：剣友会（中四学連・剣友剣道大会）の報告
- 議題10：その他

議事

1. 第34回理事会議事録確認

8. 剣友会報告の第5回全日学連剣友剣道大会の開催場所が「中村スポーツセンター」に変更になったことが報告され、議事録を承認した。

2. 中四幹事会報告

報告者：月本翔太

- (1) 中四国学生剣道連盟学生役員改選報告
 - ・11月の幹事会で学生役員改選が行われ、幹事長・月本翔太以下別紙のとおり、報告された。
- (2) 竹刀検査について
 - ・預かり竹刀が多く、役員の負担が大きいという意見が出され、竹刀ゲージを中四国学生剣道連盟が購入して全大学に貸し出し、規格外竹刀を減らしたいとする案が出された。50万円程度必要で予算措置が厳しい。
 - ・預かること自体を止めたいことも議論されたが、預かることを推進された木原先輩が欠席のため、次回以降とした。
 - ・一人の検査本数の上限数を3本までにする案が出された。

3. 規約改正案及びグラドルール改正案について

報告者：月本翔太

- (1) 中四国学生剣道連盟細則改正
 - ・連盟費（15千円）を廃止し、個人登録費（3千円）とする。
 - ・8月の臨時幹事会（優勝大会抽選会）の廃止。以上が承認された。
- (2) 中四国学生剣道連盟グラドルール
 - 第4条（剣道具）2. 名札について
 - ・全日本大会の注意事項（名札について）として、「同じ大学に同姓者がいる場合は、苗字の右下に名前の1文字を入れること。」があり、また、全日審判委員会の申し合わせで「出場選手がオーダー通りになっていない場合は、当該選手およびその入れ違いの選手を負けとする。」ことが決定されている。中四国学連においては名札に名前の1文字を入れるグラドルールは採用して来なかった。学生幹事会では、今まで通りで行いたいとの報告がなされたが、前述のオーダー通りになっているかを審判員が確認することになり、このグラドルールの是非が議論された。
 - ・先輩からは、同じ大学に同姓者がいる場合、審判員が判別できるようにしていただきたい。
 - ・中四国学連においては、同じ大学で男子は男子、女子は女子に同姓者がいる場合に苗字の右下に名前の1文字を入れる方向で学生に再度検討して貰うことになる。
 - 第18条&第19条について
 - ・第18条4行目「団体戦においては補欠の出場は認めない（編成区分への補充は不可）。」に変更。
 - ・第19条1行目「不正竹刀」を「規格外竹刀」に変更。
 - ・編成区分の定義を「ポジション」と解釈する。

4. 全日学連「理事会・常任理事会」報告

報告者：黒田隼也

- (1) 平成23年度オープン大会について
 - ・北海道学連より全日本学生剣道連盟に補助金予算の増加を要請。
- (2) 部員登録について
 - ・中間の部員登録を6月末とし、最終を10月末までとする。
 - ・地域連盟で登録と認められた時点で、全日本連盟でも登録されたものとする。
- (3) 全日本学生剣道オープン大会について
 - ・北海道、東北、北信越、中四国の4地域で開催。
 - ・隔年開催であったが、平成25年度の中四国開催以後は毎年開催の方向性が示された。
→中四国で4年に1度の開催については軽々に引き受けられない。
- (4) 審判委員会からの報告
 - ・団体戦でオーダー通りに出場していない場合
オーダー通りになっていない場合は当該選手を二本負けとする。

(ア) 試合開始後、オーダー通りでない選手が出て来た時、「始め」をかけてから直ちに「止め」をかけ、当該選手を二本負けとする。

(イ) 試合中に気付いた場合、一本を取っていても既得本数、既得権は認めず二本負けとする。

例えば、三将と副将が入れ替わっていた場合、三将・副将とも二本負けとする。

- ・不正用具の使用が発見された場合、それ以後の試合続行を認めない。但し、選手権大会で発見された場合、東西対抗への摘要はしない。
- ・「不正竹刀」の呼び名を「規格外竹刀」という表現することで統一することが決定。
- ・竹刀検量の際、中結が緩いものに関しては、後に再検査を行うということを監督会議で提案。
- ・全日本剣道連盟主催 審判講習会について
北海道連盟：平成23年10月1、2日または15、16日
関西連盟：平成24年2月25・26日

(5) 財務委員会からの報告

- ・平成22年度最終部員登録者数 全日本：11,095名（前年度比310名減少）中四国：933名（昨年952名）
- ・一般会計余剰金を各地域連盟に交付金として返還する。

(6) 事業委員会からの報告

- ・全日の60周年記念行事について、以下3点について検討
 - ①海外イベント
 - ②記念式典（学生も参加）
 - ③記録誌の作成
- ・オープン大会について
 - ①東北、北信越、北海道、中四国の順に開催。
 - ②審判員は五段以上とし、主管連盟が主体となって確保する
 - ③ボランティア審判員は今後廃止の方向
 - ④参加人数が極端に多い場合は、主管連盟の裁量で試合形式の変更を認める
- ・全日本女子学生剣道優勝大会30回記念誌について
渡邊常任理事より、記念誌の作成につき、毎日新聞社に全面協力を得て、500冊（予定72ページ）で100万円程度の予算がかかること、また加盟各校、各連盟および全日役員には原則無償配布を考えていることが報告された。
- ・各連盟の出場枠について
出場枠の増減については、3年から5年での見直しすることとなっているが、前回から3年が経過したので、過去5年間の各連盟の登録者数を調査し、来年の2月の理事会で事業委員会としての案を作成することが報告された。

5. 全日本オープン大会（主管：中四学連）について

報告者：石井博貞

- ・広島県で開催することが確認された。但し、広島グリーンアリーナが確保できない場合は、愛媛県開催もあり得る。
- ・広島グリーンアリーナを申し込みについての手順が報告された。
- ・開催時期、平成25年12月21日～22日が良いのでは..。
- ・Vリーグ（バレーボール）と競合する恐れがある。
- ・中四国学生剣道新人戦、中四学連剣友剣道大会の開催をどうするかの問題がある。
- ・予算の問題があるが、中四国9県から審判員を予定した場合や補助員を大学生とした場合等の問題点がある。

6. 平成23年度大会について

報告者：石井博貞

- ・日程について
リーゼミ…3月12日～14日、場所：江田島青少年交流の家

選手権大会…5月15日、場所：愛媛県武道館
西日本大会…5月28、29日、場所：福岡市民体育館
全日本選手権大会…7月2、3日、場所：大阪府立体育館
優勝大会…8月28日、場所：岡山市総合文化体育館
全日本男子優勝大会…10月23日、場所：日本武道館
全日本女子優勝大会…場所：春日井市総合体育館、日程については同上。
新人戦大会…12月11日、場所：広島県立総合体育館

7. 平成23年度大会の審判長。審判員の各県割り当て人数について

報告者：矢野宏光

- ・平成23年度、審判長は木原先輩に決定した。
- ・平成23年度から選手権大会が毎年松山市で開催（現在最終調整中）されることで、松山市から助成金があるため、6試合場から8試合場へ増やす。
- ・別紙各県の審判員割り当て人数（案）について審議された。（各試合場、主任含め7名体制）
- ・主任の任務も大切であるので、主任含め8名体制とすることになる。
- ・前述の割り当てい各県1名（愛媛県を除き）を増員することになる。

8. リーゼミについて

報告者：小原啓示

- ・3月に江田島において審判講習や合同稽古を予定
- ・平成23年3月12日～14日は第5回全日学連剣友剣道大会とかぶるが、参加されない先輩方を中心に開催する。

9. 剣友会（中四学連・剣友剣道大会）の報告

報告者：渡邊道徳

- ・皆様のおかげで予定よりも早く終了でき、皆様に感謝の意が表された。
- ・反省点として、会場の確保のため日程を早く決めるべき。
- ・役員の方でも試合場にスリッパで入るのはよくないとの指摘が学生からの意見としてあった。
- ・来年度の予定は12月4日岡山武道館を予定。（後に12月18日に変更）

以上の議事を終え、本会は午後15時13分、議長が閉会を宣言して散会した。
上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成 22 年 12 月 11 日

中四国学生剣道連盟 第35回理事会

署 名 人 境 英 俊

署 名 人 工 藤 圭 司



次回 MTG

日 時：2011年5月14日

場 所：坊ちゃんスタジアム・第5会議室